■ 主要科目の特徴　≪臨床検査技術学科≫

①	科目名	医療学概論	
	配当学年・学期	1年次・前期	
科目の特徴	医療の中での臨床検査の価値、重要性は、機器の進歩のみでなされるものではなく、そこで働く臨床検査技師の質に依存している。臨床検査技師には検査技術はもちろんのこと、患者への対応力、チームワーク力、新技術の理解・吸収力また問題解決能力が求められる。本科目では、臨床検査技師として将来医学・医療に携わる者に対し、専門教育を学ぶための基礎となる重要な知識や視点をあたえ、医療においての臨床検査の位置づけや役割、医療人として遵守すべき倫理を理解する。		
②	科目名	臨床検査概論	
	配当学年・学期	1年次・前期	
科目の特徴	臨床検査技師の業務を理解し、臨床検査の入門としての基礎知識を学んでもらう。初期診療における基本的な臨床検査を知り、検査値の判読と考え方を理解する。また、臨床検査技師に関連する法律や責任、医療現場におけるコミュニケーションのあり方などを取り上げる。さらに、並行して行われる臨床検査基礎実習に関連した検体採取の一例として、採血法についても学ぶ。		
③	科目名	血液検査学	
	配当学年・学期	2年次・前期	
科目の特徴	本科目は血液疾患診断のための検査と病態解析に必要な知識について学習する。具体的には、貧血、白血病、出血性疾患や血栓症の病態解析の基礎知識を学習する。なぜ貧血になるのか、貧血の種類と特徴、白血病とはどんな病気か、なぜ白血病には多くの種類があるのか、血栓とはどういうことか、出血傾向とはどういうことか、またこれらの診断に必要な検査などを理解することを目指す。		
④	科目名	遺伝子・染色体検査学	
	配当学年・学期	3年次・前期	
科目の特徴	分子生物学的な解析技術の進歩は、さまざまな疾患の病態を分子レベルで理解することを可能にした。遺伝子関連検査は遺伝性疾患の確定診断や保因者検査のみならず、感染症や白血病・固形腫瘍の診断、治療効果判定、薬物の副作用回避などを目的とし、その応用領域は急速に広がっている。本科目では、染色体や遺伝子の構造と機能からはじまり、これらの異常とそれが疾患を引き起こすメカニズム、染色体や遺伝子の解析技術および遺伝倫理について学ぶ。		